

2025 年度立命館大学情報理工学部入学予定のみなさんへ

立命館大学情報理工学部

合格おめでとうございます。

情報理工学部ではみなさんがキャンパスでの授業を通じて情報科学・情報工学分野の基礎ならびに専門分野を学ばれることを心待ちにしています。

情報理工学部では学部授業における個人 PC の必携化(Bring Your Own Device: BYOD)を実施しています。これは、昨今一層の高まりを見せている「教育における情報化=EdTech」を活用した、より新しい学びを情報理工学部の教育課程に導入する試みの一環です。

現在の情報化社会においては、PC は特殊な機器ではすでになく、日常的に利用する文具としての地位を占めています。みなさんにも、自身の PC を教室や実験室に持ち込んで、LAN を通じて授業支援ウェブサイトアクセスし、プログラミングや実験データの解析を行い、レポートを作成して電子的に提出するなど、授業内外での活動を通じて広く PC を活用するスキルを身につけてほしいと考えています。

入学後の円滑な授業参加のために、毎日大学へ持ってくることができる自分専用の携帯型 PC を、入学までに必ず購入しておいてください。入学直後の新入生オリエンテーションから早速使用します。

オリエンテーションで実施するガイダンスでは、各自の PC を使って学内 LAN に接続し、ウェブをつかった学内サービスにアクセスするための講習を実施しますので必ず持参してください。授業開始後も、情報理工基礎演習やプログラミング演習をはじめとする専門科目や、英語の授業で活用します。

PC の機種については、個人の持ち物ですので学部として特定の機種を指定することはしません。大学生協をはじめとするショップの紹介などを参考に気に入ったものを選定してください。

(立命館大学生協のショップページはこちら：<https://www.ritsco-op.jp/enter/manabi.html>)

以下に、情報理工学部での授業が円滑に受けられることができる典型的な BYOD 用 PC の仕様を記載します。高校時代に使用していた PC がある場合は、新しい PC を購入しなければならないというわけではありませんが、下記の仕様を満たしているかを参考にしながら判断してください。

※Information Science and Engineering Course (ISSE)の入学者については新入生オリエンテーションにて PC についての説明がありますので、現在所有されているノート PC 以外を入学前に購入する必要はありません。

<典型的なモバイル PC の例(製品カタログの「仕様」や「スペック」というところに書いてあります)>

・Windows PC / Macbook シリーズ

モバイル PC にはいくつかの種類がありますが、なかでも Windows 11 を搭載した PC(多くのメーカーから多様な製品が販売されています)と、macOS を搭載した Apple 社の Macbook Air がポピュラーです。

どちらでも情報理工学部での授業に利用できますので好みのものを選んで購入してください。これら以外の LINUX や Chrome OS などを搭載したものは専門的な知識を必要としたり、授業で利用するアプリが動作しなかったりすることがあります。また、授業でのレポートや発表資料の制作、プログラミング等を行うため iPad OS や Android を搭載したタブレット端末は BYOD 用のデバイスとしては避けてください。

・CPU Intel Core Ultra5 あるいは Core i5 など同等の性能のもの（Windows の場合） / Apple M2（macOS の場合）

<Windows の場合>

Ultra3 < Ultra5 < Ultra7 < Ultra9 という順にスペックが上がります。従来の「Core i シリーズ」でも性能には問題ありません。

<macOS の場合>

M2 < M3 < M2 Pro < M3 Pro < M3 Max という順にスペックが上がります。

・16GB メインメモリ

メインメモリは 16GB 以上を推奨します。8GB でも当面不安はありませんが、応答性や同時実行するアプリの数に影響します。回生が進行すると、同時に複数のアプリケーションを使用する必要があります。その際に 8GB では動作がもたつく可能性があります。ノート PC はあとからメモリを増設することができない機種が多いです。

・256GB SSD ストレージ

ハードディスク(HDD)は安価ですが SSD に比べると速度が遅く応答性に影響しますので SSD 内蔵の機種を選ぶ方がよいでしょう。また本学学生は Microsoft OneDrive のクラウドストレージを最大 100GB まで費用負担無しで利用できます。しばらく使わないファイルの保存にはクラウドストレージを利用すると SSD の容量を節約できます。

・無線 LAN 機能(Wi-Fi6E)/Bluetooth 5

本学のキャンパスでは各教室で Wi-Fi のアクセスポイントを利用できます。卒業までの 4 年間を考えると、通信性や速度の安定する最新規格のものを備えておくことを推奨します。

・13～15 インチディスプレイ

画面が大きい方がレポート作成やプログラミングなどが快適になる一方で、本体が大きく重くなり、持ち運びにくくなるかもしれません。バランスを考えると上記の範囲がよいでしょう。13 インチ未満のものはプログラミングがしにくくなるので、お勧めしません。

・Web カメラ、マイク、ヘッドフォン出力搭載

授業によっては Web カメラやマイクを必要としますので、これらを内蔵したものがよいでしょう。Bluetooth を搭載している場合はワイヤレスのヘッドフォンを利用できるので、有線のヘッドフォン端子は必ずしも必要ありません。

・映像出力端子として HDMI か USB-Type-C/Thunderbolt を搭載

いくつかのプロジェクト型の授業(実験・演習を含む)では自分の PC で制作したスライドを使って発表を行います。HDMI 端子があれば、外部ディスプレイやプロジェクタに映像を出力して聴衆に見せることができます。軽量薄型の機種では本体に HDMI 端子がないことがありますが、ほとんどの機種では拡張用の HDMI アダプタをあとから購入して接続できます(Microsoft Surface Pro や Macbook Air など)。PC 本体に HDMI 端子がない場合は、USB-Type-C / Thunderbolt などの端子が PC 本体に付属しているものを選択し、HDMI 端子が付いている拡張用アダプタを購入する方法があります。また、無線 LAN よりも安定している有線 LAN を使

用できる教室があるため、拡張用アダプタを購入する場合は、有線 LAN 接続用のコネクタがついているものを購入するのが良いでしょう。

・バッテリー駆動 10 時間程度

朝登校して夕方帰宅するまでバッテリーがもつものがよいでしょう。キャンパス内のいくつかの場所で充電できますが、教室内に電源が装備されていない場合もあります。バッテリー容量が十分であれば授業中はバッテリーのみで授業を受けられますが、休み時間に充電することも考慮して充電用アダプタは持ち運びましょう。また、充電用アダプタは PC 端末の USB Type-C 端子からでも充電できるものであれば、友達とアダプタを使い回せて便利です。

・重量 1kg～2kg 程度

BYOD による授業では毎日 PC を持ち運ぶことになるため軽さが重要です。2kg 程度までであれば苦にならないでしょう。

・Microsoft365 Office について

レポートの作成やデータ解析、発表スライドの制作には Office ソフトを使います。立命館大学ではすべての学生が Microsoft365 Office (Windows および Mac 用(M1/M2 Mac 含む))を費用負担無しで利用できます。個人でライセンスを購入する必要はありません。

・保証

メーカーや販売店の保証は通常1年間のものが多いです。

大学生協推奨モデル PC を購入すると4年間の保証がついています。詳しくは大学生協の Web ページを参照してください(<https://www.ritsco-op.jp/enter/manabi.html>)

・インターネット回線

自宅や下宿にインターネット回線がない場合は、インターネットプロバイダ各社の提供する接続サービスの契約をお勧めします。例えば本学の教職員と学生限定で利用が可能な「オンライン学習スタートパック (<https://www.creohuman.co.jp/business/onlineclasses/>)」では、NTT 西日本の光接続回線や 4G 携帯電話網によるモバイル接続(モバイルルータ付き)を比較的安価に利用することができます。モバイル接続の契約をしていると、授業中に Wi-Fi が不調になった場合にバックアップ回線として利用することもできます。

<授業使用 PC に関する問い合わせ先>

情報理工学部・研究科事務室メールアドレス: ise26@st.ritsumei.ac.jp

※回答には数日要することがあります。

以上